(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2010-51616
(P2010-51616A)
(43)公開日　平成22年3月11日(2010.3.11)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
A47G	1/16	(2006.01)	A47G	1/16	H	3B111
A47K	1/02	(2006.01)	A47K	1/02	B	

審査請求 未請求　請求項の数 10　ＯＬ　（全 9 頁）

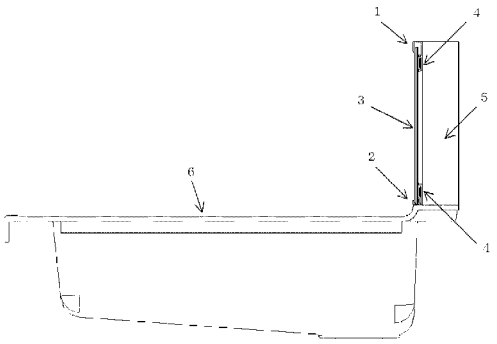
(21)出願番号　特願2008-220771 (P2008-220771)
(22)出願日　平成20年8月29日 (2008.8.29)

(71)出願人　000010087
ＴＯＴＯ株式会社
福岡県北九州市小倉北区中島２丁目１番１号
(72)発明者　田口　宏之
千葉県佐倉市大作２丁目５番地１　ＴＯＴＯバスクリエイト株式会社内

Ｆターム(参考)　3B111 AA08　AB06　AD01

(54)【発明の名称】鏡取付構造および鏡取付器具

(57)【要約】
【課題】鏡と鏡取付具との隙間の防水性を確保すると共に、鏡を容易に着脱できる取付構造を提供する。
【解決手段】取付面に取り付けられる鏡と、前記取付面に前記鏡を支持する鏡取付具と、を備える鏡取付構造であって、前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする鏡取付構造が提供される。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
取付面に取り付けられる鏡と、
前記取付面に前記鏡を支持する鏡取付具と、
を備える鏡取付構造であって、
前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、
前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、
前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成される
ことを特徴とする鏡取付構造。
【請求項２】
前記鏡挟持部は、前記取付面に対して前記第１の鏡支持部材を固定する第１の固定部と、前記第１の固定部の下端から手前側に突出し前記鏡を支持する下面部と、前記下面部の前記鏡に対して手前側が上方へ折曲される第１の前面部と、前記鏡に押圧をかける押圧部と、からなり、
前記止水部は、前記第１の前面部の裏側に固定される
ことを特徴とする請求項２に記載の鏡取付構造。
【請求項３】
前記鏡取付具は、前記鏡の上部を支持する第２の鏡支持部材と、を有しており、
前記鏡は、前記第１の鏡支持部材と、前記第２の鏡支持部材と、により前記取付面に取り付けられる
ことを特徴とする請求項１または２に記載の鏡取付構造。
【請求項４】
前記第２の鏡支持部材は、前記取付面に対して前記第２の鏡支持部材を固定する第２の固定部と、前記第２の固定部の上端から手前側に突出する上面部と、前記上面部の先端が下方へ折曲される第２の前面部と、からなる
ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１つに記載の鏡取付構造。
【請求項５】
前記弾性シール部材は熱可塑性エラストマーで形成される
ことを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１つに記載の鏡取付構造。
【請求項６】
取付面に取り付けられる鏡を支持する鏡取付具を備える鏡取付器具であって、
前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、
前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、
前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成される
ことを特徴とする鏡取付器具。
【請求項７】
前記鏡挟持部は、前記取付面に対して前記第１の鏡支持部材を固定する第１の固定部と、前記第１の固定部の下端から手前側に突出し前記鏡を支持する下面部と、前記下面部の前記鏡に対して手前側が上方へ折曲される第１の前面部と、前記鏡に押圧をかける押圧部と、からなり、
前記止水部は、前記第１の前面部の裏側に固定される
ことを特徴とする請求項６に記載の鏡取付器具。
【請求項８】
前記鏡取付具は、前記鏡の上部を支持する第２の鏡支持部材と、を有しており、
前記鏡は、前記第１の鏡支持部材と、前記第２の鏡支持部材と、により前記取付面に取り付けられる

ことを特徴とする請求項６または７に記載の鏡取付器具。
【請求項９】
前記第２の鏡支持部材は、前記取付面に対して前記第２の鏡支持部材を固定する第２の固定部と、前記第２の固定部の上端から手前側に突出する上面部と、前記上面部の先端が下方へ折曲される第２の前面部と、からなる
ことを特徴とする請求項６乃至８のいずれか１つに記載の鏡取付器具。
【請求項１０】
前記弾性シール部材は熱可塑性エラストマーで形成される
ことを特徴とする請求項６乃至９のいずれか１つに記載の鏡取付器具。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明の態様は、一般に、鏡の取付構造または鏡取付構造に関する発明であって、詳しくは鏡と鏡取付具との隙間の防水を確保すると共に、鏡を容易に着脱できる構造に関する発明である。
【背景技術】
【０００２】
従来、鏡をベース板の表面に固定するために鏡受具が用いられていた。従来の鏡受具は、鏡受具の内側と鏡の表面との間に隙間が生じ、その隙間に水が溜まることで発生するシケという課題を解決するために、鏡受具の先端縁に鏡の表面と接して水が鏡の下側に浸入することを防止するための軟質のエッジ部を軟質の合成樹脂で一体成形するというものであった。（例えば、下記特許文献参照）
【特許文献１】特開２００１－２３１６７１号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
しかし、上述した従来の鏡受具では、シケを発生させないように水が鏡の下側に侵入することを防止する必要がある。しかし、軟質の合成樹脂のみを使用しているため、鏡と軟質の合成樹脂との摩擦係数が大きく、鏡の着脱の際に大きな力が必要であり取付けが容易でなく、場合によっては、取付けの際に軟質の合成樹脂の十分な圧縮変形が得られず、鏡と軟質の合成樹脂の間に隙間が生じてしまい、十分な防水機能を得られないこともある。さらに、鏡と軟質の合成樹脂の間に隙間が生じていると気付いた時には取付けた鏡を取り外し、再度注意して鏡をはめ込む作業が必要であった。従来の鏡受具には、鏡を取付ける際の鏡と軟質の合成樹脂との摩擦係数が大きいことに起因する課題があった。
【０００４】
そこで、本発明の態様では、鏡と鏡取付具との隙間の防水性を確保すると共に、鏡を容易に着脱できる取付構造を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
上記の課題を解決するために、本発明の一実施形態においては、取付面に取り付けられる鏡と、前記取付面に前記鏡を支持する鏡取付具と、を備える鏡取付構造であって、前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする。また、本発明の一実施形態においては、取付面に取り付けられる鏡を支持する鏡取付具を備える鏡取付器具であって、前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール

部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする。

【発明の効果】

【０００６】

本発明の態様によれば、鏡と鏡取付具との隙間の防水を確保すると共に、鏡を容易に着脱できる構造を提供することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【０００７】

本発明を実施するための最良の形態を説明するに先立って、本発明の作用効果について説明する。

【０００８】

また、第１の発明は、取付面に取り付けられる鏡と、前記取付面に前記鏡を支持する鏡取付具と、を備える鏡取付構造であって、前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする。

【０００９】

本発明の一様態によれば、本発明の一態様によれば、シケを発生させないように鏡と鏡取付具との隙間の防水性を確保すると共に、鏡を容易に着脱できる構造を提供することができる。十分な防水性を得るために止水部を圧縮等して変形させる必要がある。しかし、止水部に弾性シール部材だけを用いた場合では、鏡と弾性シール部材との摩擦係数が大きく、鏡の着脱の際に大きな力が必要であり取付が容易でない。また、場合によっては、取付けの際に軟質の合成樹脂の十分な圧縮変形が得られず、鏡と軟質の合成樹脂の間に隙間が生じてしまい、十分な防水機能を得られないこともある。このように、圧縮変形可能な弾性シール部材は摩擦力が大きく、摩擦力を下げようとすると軟質性が失われ、弾性シール部材と摩擦力とはトレードオフの関係にある。今回、摩擦力を低減させるために弾性シール部材の表面をコーティングすることによって、軟質性と滑性を両立させることが可能となり、鏡と鏡取付具との隙間の防水性を確保すると共に、鏡を容易に着脱できるようになった。

【００１０】

また、第２の発明は、第１の発明において、前記鏡挟持部は、前記取付面に対して前記第１の鏡支持部材を固定する第１の固定部と、前記第１の固定部の下端から手前側に突出し前記鏡を支持する下面部と、前記下面部の前記鏡に対して手前側が上方へ折曲される第１の前面部と、前記鏡に押圧をかける押圧部と、からなり、前記止水部は、前記第１の前面部の裏側に固定されることを特徴とする。

【００１１】

本発明の一様態によれば、本発明の一態様によれば、第１の前面部の裏側に固定される止水部と、鏡に押圧をかける押圧部と、を備えることにより、軟質の合成樹脂の十分な圧縮変形が得られ、取付けの際に鏡と軟質の合成樹脂の間に隙間が生じなく、より十分な防水機能を得ることができる。

【００１２】

また、第３の発明は、第１または第２の発明において、前記鏡取付具は、前記鏡の上部を支持する第２の鏡支持部材と、を有しており、前記鏡は、前記第１の鏡支持部材と、前記第２の鏡支持部材と、により前記取付面に取り付けられることを特徴とする。

【００１３】

本発明の一態様によれば、第１の鏡支持部材と、第２の鏡支持部材と、を備えることにより、鏡の着脱を容易に行うことができる。

【００１４】

また、第４の発明は、第１乃至第３のいずれか１つの発明において、前記第２の鏡支持

部材は、前記取付面に対して前記第２の鏡支持部材を固定する第２の固定部と、前記第２の固定部の上端から手前側に突出する上面部と、前記上面部の先端が下方へ折曲される第２の前面部と、からなることを特徴とする。

【００１５】

本発明の一態様によれば、第２の鏡支持部材が、第２の固定部と、上面部と、第２の前面部と、を備えることにより、鏡の着脱をより容易に行うことができる。

【００１６】

また、第５の発明は、第１乃至第４のいずれか１つの発明において、前記弾性シール部材は熱可塑性エラストマーで形成されることを特徴とする。

【００１７】

本発明の一様態によれば、弾性シール部材に熱可塑性エラストマーを使用することにより、鏡支持部材、止水部、表面コーティングを一体で同時成形できるため、安価に生産することができる。

【００１８】

第６の発明は、取付面に取り付けられる鏡を支持する鏡取付具を備える鏡取付器具であって、前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする。

【００１９】

本発明の一態様によれば、シケを発生させないように鏡と鏡取付具との隙間の防水性を確保すると共に、鏡を容易に着脱できる構造を提供することができる。十分な防水性を得るために止水部を圧縮等して変形させる必要がある。しかし、止水部に弾性シール部材だけを用いた場合では、鏡と弾性シール部材との摩擦係数が大きく、鏡の着脱の際に大きな力が必要であり取付が容易でない。また、場合によっては、取付けの際に軟質の合成樹脂の十分な圧縮変形が得られず、鏡と軟質の合成樹脂の間に隙間が生じてしまい、十分な防水機能を得られないこともある。このように、圧縮変形可能な弾性シール部材は摩擦力が大きく、摩擦力を下げようとすると軟質性が失われ、弾性シール部材と摩擦力とはトレードオフの関係にある。今回、摩擦力を低減させるために弾性シール部材の表面をコーティングすることによって、軟質性と滑性を両立させることが可能となり、鏡と鏡取付具との隙間の防水性を確保すると共に、鏡を容易に着脱できるようになった。

【００２０】

また、第７の発明は、第６の発明において、前記鏡挟持部は、前記取付面に対して前記第１の鏡支持部材を固定する第１の固定部と、前記第１の固定部の下端から手前側に突出し前記鏡を支持する下面部と、前記下面部の前記鏡に対して手前側が上方へ折曲される第１の前面部と、前記鏡に押圧をかける押圧部と、からなり、前記止水部は、前記第１の前面部の裏側に固定されることを特徴とする。

【００２１】

本発明の一態様によれば、第１の前面部の裏側に固定される止水部と、鏡に押圧をかける押圧部と、を備えることにより、軟質の合成樹脂の十分な圧縮変形が得られ、取付けの際に鏡と軟質の合成樹脂の間に隙間が生じなく、より十分な防水機能を得ることができる。

【００２２】

また、第８の発明は、第６または第７の発明において、前記鏡取付具は、前記鏡の上部を支持する第２の鏡支持部材と、を有しており、前記鏡は、前記第１の鏡支持部材と、前記第２の鏡支持部材と、により前記取付面に取り付けられることを特徴とする。

【００２３】

本発明の一態様によれば、第１の鏡支持部材と、第２の鏡支持部材と、を備えることにより、鏡の着脱を容易に行うことができる。

【００２４】
また、第９の発明は、第６乃至第８のいずれか１つの発明において、前記第２の鏡支持部材は、前記取付面に対して前記第２の鏡支持部材を固定する第２の固定部と、前記第２の固定部の上端から手前側に突出する上面部と、前記上面部の先端が下方へ折曲される第２の前面部と、からなることを特徴とする。
【００２５】
本発明の一態様によれば、第２の鏡支持部材が、第２の固定部と、上面部と、第２の前面部と、を備えることにより、鏡の着脱をより容易に行うことができる。
【００２６】
また、第１０の発明は、第６乃至第９のいずれか１つの発明において、前記弾性シール部材は熱可塑性エラストマーで形成されることを特徴とする。
【００２７】
本発明の一様態によれば、弾性シール部材に熱可塑性エラストマーを使用することにより、鏡支持部材、止水部、表面コーティングを一体で同時成形できるため、安価に生産することができる。
【００２８】
続いて、本発明の好適な一実施形態について、図面を参照して説明をする。なお、説明において、同一要素または同一機能を有する要素には同一符号を用いることとし、重複する説明は省略する。
【００２９】
以下、添付図面を参照して本発明の鏡取付具の実施形態について説明する。
【００３０】
図１は、本発明の実施形態による鏡取付具を示す側面図である。また、図２、図３は、本実施形態による第１、第２の鏡支持部材の拡大側面図である。
【００３１】
図１に示すように、本実施形態の鏡取付具は、第１の鏡支持部材、第２の鏡支持部材、鏡、洗面カウンター、取付面、固定用ネジによって構成されている。
【００３２】
洗面カウンターを設置後、第２の鏡支持部材を上側に固定用ネジで取付面に固定し、第１の鏡支持部材を下側に洗面カウンターと接触させるようにして固定用ネジで取付面に固定する。その時第１の鏡支持部材と第２の鏡支持部材は、鏡の上部を第２の鏡支持部材に挿入した後に鏡を下方にスライドさせ、鏡の下部を第１の鏡支持部材に挿入した時に、鏡が手前方向に移動できないように、第２の鏡支持部材が鏡に掛かる垂直距離に設定する。この鏡の設置方法はケンドン式と呼ばれ、鏡支持部材を取り外すことなく、鏡のみを着脱することができるという利点があり、鏡の取付け方法として一般的に用いられている。鏡を取り外す場合は、鏡を取付ける場合とは反対に、鏡を上方に第１の鏡支持部材の掛り代がなくなるまでスライドさせ、鏡を斜めにしながらの鏡の下部を手前下側に移動させることにより、鏡支持部材を取り外すことなく、鏡のみを取り外すことができる。取付面は住宅内の例えば洗面所の壁であってもよいし、洗面化粧台を構成する部材の一部であってもよい。
【００３３】
なお、鏡の設置方法にはスライド式と呼ばれるものもあり、その場合も同じように本発明の効果を得ることができる。スライド式と呼ばれる設置方法は第２の鏡支持部材の固定用ネジ穴を垂直方向に長い穴を形成するなどして、固定用ネジなどで第２の鏡支持部材を垂直方向に移動可能な程度にネジで固定した後、穴の垂直方向の長さ分だけ移動できるようになっている。したがって鏡を第１の鏡支持部材に挿入した後、第２の鏡支持部材を下側にスライドさせることによって鏡との掛り代を確保し、ケンドン式と呼ばれる鏡の設置方法と同じように鏡を固定することができる。ただし、スライド式で鏡を設置した場合、第２の鏡支持部材のさらに上側に接触するような形で、他の例えば洗面化粧台キャビネットなどを設置していた場合、鏡を取り外す際には、第２の鏡支持部材を上側にスライドさ

せることができないので、上側に接触するような形で設置している洗面化粧台キャビネットなどを取り外すなどしてから、鏡を取り外すという手間がかかる。

【００３４】

図２に示すように、第２の鏡支持部材は鏡押さえ部１ａ・１ｄ、クッション部１ｂ・１ｅ、コーティング部１ｃ・１ｆ、第２の固定部１ｇ、上面部１ｈ、第２の前面部１ｉで構成されている。

【００３５】

第２の鏡支持部材は断面略コ字形で、鏡押さえ部１ａ・１ｄは硬質の合成樹脂、クッション部１ｂ・１ｅは軟質の合成樹脂、コーティング部１ｃ・１ｆは摺動性のある合成樹脂で、熱可塑性の樹脂を使うことにより、押出し成形などで一体に成形されている。鏡押さえ部１ａ・１ｄは鏡を取付けた後、鏡が取付面方向に動かないようにするために形成されている。鏡の裏面が傷付かないようにするためにクッション部１ｂ・１ｅを形成し、上記で説明したように鏡着脱時に鏡を垂直方向にスライドさせる必要があるため、鏡の着脱性を向上させる目的で、軟質部の表面には摺動性のある材料を使用したコーティング部１ｃ・１ｆがコーティングされている。鏡支持部材１を取付面に固定するための固定用ネジ穴は、成形時に金型により予め成形するか、成形後穴あけ加工を行うことにより形成する。また、鏡押さえ部１ａ・１ｄは固定用ネジ穴に固定したネジの頭よりも鏡側になるような高さに設定し、鏡を取付面方向に押した時などに鏡の裏面がネジの頭に当たることにより傷付くことを防止している。

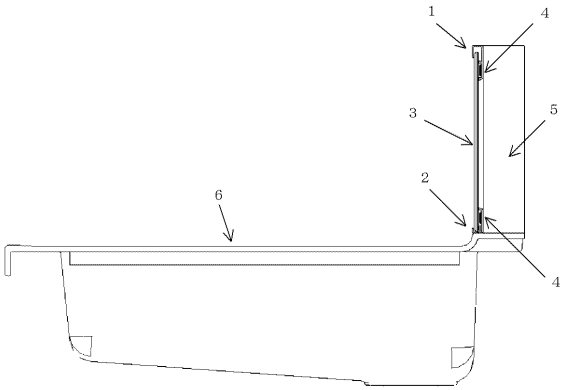
【００３６】

図３に示すように、第１の鏡支持部材は、鏡挟持部、止水部２ｇで構成されている。鏡挟持部は、第１の固定部２ｋ、第１の前面部２ｌ、下面部２ｍ、押圧部（以下、鏡押さえ部２ａ、鏡押出しリブ２ｄ）で構成されている。止水部２ｇは、止水部２ｇの弾性シール部材（以下、軟質部材２ｈ）、コーティング部２ｃ・２ｆ、滑性表面層（以下、止水部２ｇの表面層２ｉ）で構成されている。第１の鏡支持部材は断面略コ字形で、鏡押さえ部２ａ、鏡押出しリブ２ｄは硬質の合成樹脂、クッション部２ｂ・２ｅ、止水部２ｇの軟質部材２ｈは軟質の合成樹脂、コーティング部２ｃ・２ｆ、止水部２ｇの表面層２ｉは鏡を着脱する際の摩擦力が軟質の合成樹脂より低い合成樹脂であり、すべて熱可塑性の合成樹脂を使うことにより、押出し成形などで一体に成形されている。鏡押さえ部２ａは第２の鏡支持部材の鏡押さえ部１ａ・１ｄと同様に鏡が取付面方向に動かないようにするために形成されている。クッション部２ｂとコーティング部２ｃも前記鏡支持部材１と同様の目的で形成されている。止水部２ｇ、鏡押出しリブ２ｄ、クッション部２ｅは鏡と第１の鏡支持部材の隙間に水が浸入しないようにする目的で形成されている。クッション部２ｅと止水部２ｈの隙間は鏡の厚みよりも小さく設定されており、鏡の下部を第１の鏡支持部材に挿入した時、止水部２ｇの軟質部材２ｈが変形することによりシール効果を生じている。また、鏡押出しリブ２ｄは鏡を第１の鏡支持部材に挿入する時に取付面方向へ変形することにより、鏡の着脱の際に鏡を垂直方向へスライドさせるのに必要な力が少なくなるため、着脱が容易になるという効果を生じている。クッション部２ｅはそれ自体が変形することにより鏡の着脱が容易になるという効果と、鏡の裏面を保護するという効果がある。クッション部２ｅと軟質部材２ｈの表面にもそれぞれコーティング部２ｆ、表面層２ｉがコーティングされており、鏡の着脱の際に鏡を垂直方向へスライドさせるのに必要な力が少なくなるため、鏡の着脱が容易になるという効果を生じている。硬質の合成樹脂、軟質の合成樹脂及びコーティング部・表面層に使用する材料は、お互いに密着性のよい組合せの熱可塑性樹脂を使うことにより、一体で同時成形ができるため、安価に生産することができる。例として、硬質の合成樹脂にポリプロピレン、ポリエチレンなどのポリオレフィン系樹脂、軟質の合成樹脂にオレフィン系熱可塑性エラストマー、コーティング部・表面層にはポリオレフィン系樹脂を３～５０μｍ程度の厚みで同時成形する。表面層の厚みは軟質部の柔軟性を保持できる範囲であれば厚くしてもよいし、薄くしてもよい。使用する材料についてもお互いの密着性、成形性等が確保できる範囲で、様々な組合せを採用することができる。成形方法についても押出し成形法や射出成形法など様々な成形方法を採用す

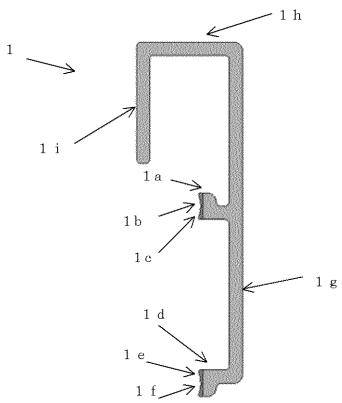
ることができる。
【００３７】
軟質部材２ｈの表面層２ｉについては、鏡の着脱を容易にする効果の他に、止水部２ｇの汚れ防止の効果がある。軟質部材２ｈは一般的に摩擦係数が高いために、汚れやほこりなどが付着しやすく、またその摩擦力のためにそれらが取りにくい。軟質部材２ｈの表面に摩擦力の低い表面層２ｉを形成することにより、汚れやほこりなどが付着しにくく、仮に付着したとしても簡単取れるという効果を生じている。
【００３８】
第１の鏡支持部材を取付面に固定するための固定用ネジ穴は、成形時に金型により予め成形するか、成形後穴あけ加工を行うことにより形成する。また、鏡押さえ部２ａ、鏡押出しリブ２ｄは固定用ネジ穴に固定したネジの頭よりも鏡側になるような高さに設定し、鏡を取付面方向に押した時などに鏡の裏面がネジの頭に当たることにより傷付くことを防止している。また、リブは止水部２ｇを圧縮させるために背面から鏡を前方へ押し出す構成となっており、変形が可能なため、鏡の着脱作業を行いやすくすることができる。
【００３９】
一般的に摩擦力が低い材料は変形してシール効果を生じるような軟質部材の材料と比較して硬く柔軟性がないため、クッション部２ｂ・２ｆ、止水部２ｈの軟質部材２ｈのそれぞれのコーティング部２ｃ・２ｆ、表面層２ｉは、軟質部の柔軟性を損なわない程度に薄くコーティングする必要がある。
【００４０】
鏡を取付面と反対側に押出す効果と固定用ネジの頭に鏡の裏面が当たって傷付くことを防止するために、鏡の裏面側にウレタン製などの弾力性のあるクッション材を貼り付けることが一般的に行われている。本実施形態のように鏡押さえ部１ａ・１ｄ・２ａを一体成形することにより、別途クッション材を準備する必要がないため、コストダウンの効果がある。
【図面の簡単な説明】
【００４１】
【図１】本発明の実施形態による鏡取付具を示す側面図である。
【図２】本実施形態による第２の鏡支持部材の拡大側面図である。
【図３】本実施形態による第１の鏡支持部材の拡大側面図である。
【図４】他の実施形態による第１の鏡支持部材の拡大側面図である。
【符号の説明】
【００４２】
１…第２の鏡支持部材
１ａ…鏡押さえ部
１ｂ…クッション部
１ｃ…コーティング部
１ｄ…鏡押さえ部
１ｅ…クッション部
１ｆ…コーティング部
１ｇ…第２の固定部
１ｈ…上面部
１ｉ…第２の前面部
２…第１の鏡支持部材
２ａ…鏡押さえ部
２ｂ…クッション部
２ｃ…コーティング部
２ｄ…鏡押出しリブ
２ｅ…クッション部
２ｆ…コーティング部

２ｇ…止水部
２ｈ…軟質部材
２ｉ…表面層
２ｋ…第１の固定部
２ｌ…第１の前面部
２ｍ…下面部
３…鏡
４…固定用ネジ
５…取付面
６…洗面カウンター

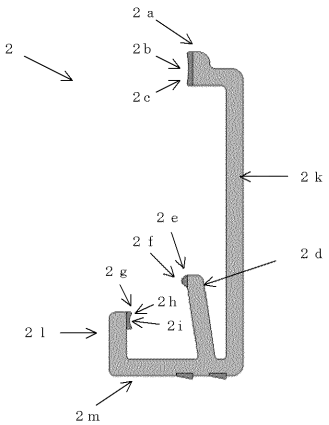
【図１】



【図２】



【図３】



【図４】

